

ウエスの寄贈ありがとうございます



～ 海潮地区振興会女性部様 ～

海潮地区振興会女性部様から今年も大量のウエスの寄贈をいただきました。このほかに、ご家族様・母子会の方・コスモス会の方、大東町内の事業所からもウエスの寄贈をいただいています。本当にありがとうございます。大切にさせていただきます。

引き続きウエスをお待ちしています。日々の支援に20センチ四方程度の綿素材の切布を使用しています。ご家庭で使用の終わったタオル・シーツ・シャツなど切ったものがあればご持参ください。



簸の上園だより

令和2年
7月発行

簸の上園 実践理念

『私が 私でいられる 空間づくり』



医務室からのお知らせ

欠員のためご迷惑をおかけしておりましたが2名の看護師採用により、活気あふれる医務室になりました！

心機一転、ご利用者様の豊かな生活と健康を守るため、より良い看護を提供できるよう看護師5名が一丸となり、笑顔いっぱい取り組んでまいります！今後ともよろしくお願いいたします。

皆さまとのご縁を大切に
がんばります

皆さまよろしくお願
い致します



森本百合子
(非常勤採用)

神楽の里担当 竹下里枝
(正規採用)

「ついたて」のご寄付



昨年度をもって廃止となった簸の上園家族会からのご寄付で、素敵な「ついたて」を購入させていただきました。

ご家族様の面会やお誕生会の際に使わせていただきます。家族会の皆様には長きにわたり、施設運営にご尽力いただき、誠にありがとうございました。大切にさせていただきます。



～お知らせ～

面会中止・窓ごし面会の間、ご利用者の様子をお伝えするため、ご家族様には写真付きメッセージをお送りしてまいりました。今後は「事業団 Instagram」「簸の上園ホームページ」「簸の上園だより」で、日々の生活やお楽しみ会の様子など、順次掲載していきますのでご覧ください。園の玄関にも掲示していますので、ご面会の際にもご覧いただけます。

社会福祉法人
島根県社会福祉事業団
特別養護老人ホーム 簸の上園
〒699-1253 雲南市大東町中湯石 88
TEL 0854-43-3125
FAX 0854-43-9107
HP <http://www.ssw.or.jp/house/hinokami>



疫病退散！！



【園長挨拶】

長引く雨に、さわやかな夏空が待ち遠しい日々が続いております。

平素は、簸の上園の運営に、一方ならぬご支援ご協力を賜り、心から感謝をしております。

「西日本豪雨」から、奇しくも丁度2年後、九州を中心に各地に「令和2年7月豪雨」による甚大な被害が発生しました。謹んでお見舞いを申し上げます。毎年のように、大規模な風水害・土砂災害が発生し、危機に強い施設づくりが求められていると痛感しています。

さて、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大対策とともに始まり、4か月が過ぎようとしています。これまでに大都市圏を中心に医療機関、高齢者施設でもクラスターが発生し、一時は医療体制の崩壊が危惧され、誰もが見えない感染の不安に陥りました。特に、高齢者の重症化リスクは高いため、簸の上園では、職員に対して厳格な感染症対策や生活の制限、家族の方も含めての健康管理の徹底を求めており、ストレスは相当高いものだったと思っています。この努力により感染を未然に防ぐことができているところです。

当園では、感染症対策委員会を1週間ごとに開催し、情報共有や取組内容の検討等を行い、全職員が新型コロナウイルス感染症に対して共通した



認識を持ち進めています。嘱託医の先生方からも対策へのご助言を頂き、連携を強化しています。

ご家族との面会については、緊急事態宣言解除後、当法人の指針に従って感染予防対策を徹底した上で、「窓越し面会」「別室面会」「オンライン面会」を実施し、安全に会って頂けるように努めてきました。電話や定期的なお便り等を通じて、暮らしの様子も小まめに伝え、少しでもご心配がないようにと様々な工夫をしております。

緊急事態宣言により、一旦は発生が抑えられていましたが、社会経済活動の再開と共に、感染者数の増加が相次いで報告されています。また雲南市内でも7月22日に感染者発生の記事がありました。簾の上園の行動計画の対応レベルを上げて対策をとっていきます。今後も、感染の状況を見極めながら、面会方法については判断させていただきますので、どうかご理解のほどよろしくお願いいたします。

また、ボランティアや地域の皆様との活動も出来ない日々が続いております。簾の上園が目指す施設づくりに欠かせない地域の皆様との交流の大切さや日常の重要性を身に染みて感じているところです。再開ができました暁には、どうか変わりませず、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

今後も、職員一人ひとりが意識を持続し、施設全体で感染予防策を徹底していくことが一番の要です。新しい生活様式を取り入れた利用者様の暮らしのあり方も変わってくると考えられます。職員が心ひとつにして、今できることを皆で考え、今実行しながら、ご利用者様の「私らしい暮らし」を守っていきたくと思っています。

一日も早くワクチンが開発され、新型コロナウイルス感染症が終息し、安心して暮らせる日常が戻ってくることを祈ってやみません。どうか皆様方も、感染症に留意されて生活を送られますようお願いしております。

新型コロナウイルス感染予防対策

★面会について

7月10日より面会については、ご利用者様の居室等の居住スペースではない個室での「別室面会」を事前予約にて開始しました。「別室」ではビニールカーテンを設置し、テーブルや椅子をご利用者様・ご家族様の距離がとれるよう配置しています。

東京都等での感染者数増加を受け、7月20日からは県外のご家族様には「窓越し面会（ガラス越しの面会）」をお願いしております。

今後の感染状況によっては、県内のご家族様にも面会方法の変更をお願いする場合があります。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

★第二波へ備えて

園では、定期的な感染対策部会を実施し今後の対策の検討などを行っています。園内で仮に発症があった場合、職員体制が通常のように組めなくなる場合があります。その時どのようにケアを継続していくか、食事の提供などはどうか等のシミュレーションを行ったり、感染された方をケアする際に必要となる個人防護具の使用手順を研修するなどして、備えをすすめています。



～別室面会～

- ・ビニールカーテンでの飛沫予防
- ・ご家族には、マスク着用・手指消毒・検温・体調チェックを依頼しています
- ・テーブル上10cmはすき間を開け、手を触れていただくことができます。肌のぬくもりは心も温かくなります。
- ・県外のご家族様にはオンライン面会もご案内しています。是非ご予約ください。

こんな時こそ「笑顔の力」を！！

神楽の里

牛乳とゼリーの素を使って冷たいおやつ、ホットプレートでどら焼き作りをしました。

冷たいおやつは順番に皆さんで混ぜていただきましたが「こんなに簡単にゼリーができるかね」と驚きの声。どら焼きは協力して混ぜたり焼いたり分担しました。

あんこを準備しているとつまみ食いの手を伸ばす方が次々と。「つまみ食いが一番美味しいわぁ」とみんなで大笑いしたり、楽しい時間となりました。



6月には笹巻き作りを行いました。笹の葉は職員が自宅の山から大きめの葉を摘み取り、利用者の方々と一緒に葉を揃えたり柔らかい葉を選別しました。



和歌の里

当日はご自分でエプロンを選んで頂き、笹の爽やかな香りの立ち込める中で職員が手を添え巻いて頂く事ができました。

手際良く巻かれる方もおられ、ちょっとしたコツを職員に教えて下さいました。出来上がった笹巻きは直ぐに茹で、昔を懐かしみながら砂糖醤油や黄粉を付けて召し上がられました。笑顔溢れる時間を過ごして頂く事ができました。

蛍の里には歌が大好きなご利用者が大勢おられます♪

皆でカラオケ、時には合唱も！

みんなで歌うのはやっぱり楽しいです！

外出出来ずとも女性は常に綺麗でいたいんです！

「オシャレを楽しむ会」を開いて、お化粧品やマニキュアを♪綺麗になった自分を見てニッコリ！



極めつけは「デザートバイキング」！

やっぱり甘い物を食べると、ついついにやけてしまいますよね（笑）

苺大福に、プリン♪
とても美味しく頂きました(#^#)

蛍の里